



2020年12月期第1四半期 決算説明資料

2020年5月15日

 株式会社フルキャストホールディングス (4848)

目次

1.	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について	3
2.	FY2020 1Q連結業績（2020年1月～3月）	5
3.	FY2020 1Qセグメント業績（2020年1月～3月）	8
4.	FY2020 業績予想の修正及び配当予想の修正	13

1. 新型コロナウイルス感染症の 感染拡大による影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について

この度の新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々及び感染拡大により困難な生活環境におられる方々に心よりお見舞い申し上げます。当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、以下のとおりです。

➤ 当社グループの現況と対応状況について

当社グループでは、従業員及びそのご家族の健康に配慮し、体調不良の者には早退や自宅待機を促すほか、小中高生を子供に持つ親に対しては在宅勤務も認める等の必要な措置を講じております。加えて、2020年4月7日の政府からの緊急事態宣言の発出以降、在宅勤務を原則とした業務体制への切り替えやテレビ会議の活用等により、社員の出勤人数を必要最低限にする等の感染防止策に取り組んでおります。

対象者が発生した場合は家族も含めて出勤停止（自宅待機）を徹底してまいります。

➤ 当社グループ事業への影響

当社グループの主力事業である短期業務支援事業においては、多種多様な業界、業種と取引を行っていることから、特定の業界、業種によらず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業個々の需要動向の変動による影響を受けております。

また、短期業務支援事業における「請負」及び営業支援事業並びに警備・その他事業においては、各種イベントの開催自粛に伴う影響を受けております。

加えて、4月7日に発表された「緊急事態宣言」及び4月16日に発表された同全国拡大に伴う企業活動の自粛ないしは休止により、顧客企業の需要動向は全般的に縮減しており、当社の業績は影響を受けております。

➤ 当社連結業績に与える影響

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている現状においては、状況が日々変化しており、新型コロナウイルス感染症の沈静時期や政府の動向、顧客先の状況や動向など、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多いことから、第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想を未定とします。

今後、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、連結業績予想を改めて開示できると判断した場合には、速やかに開示いたします。

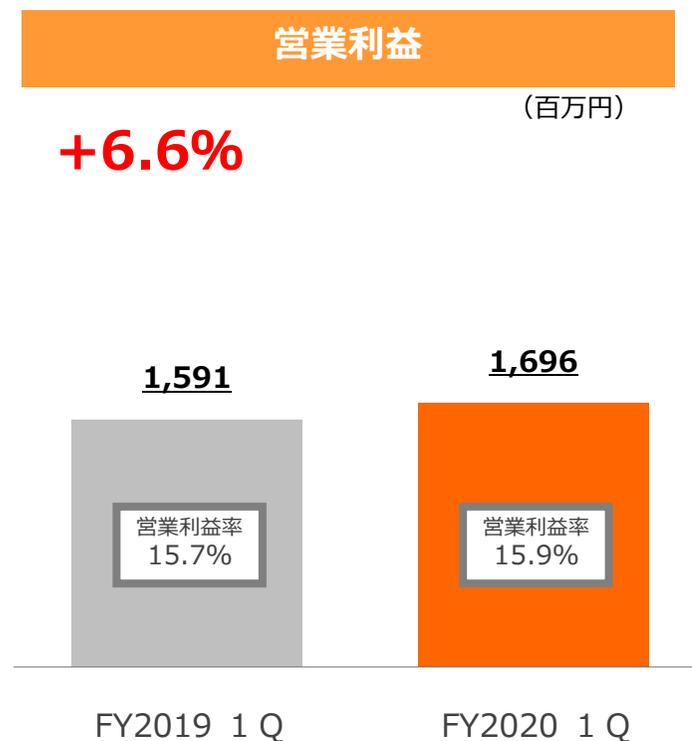
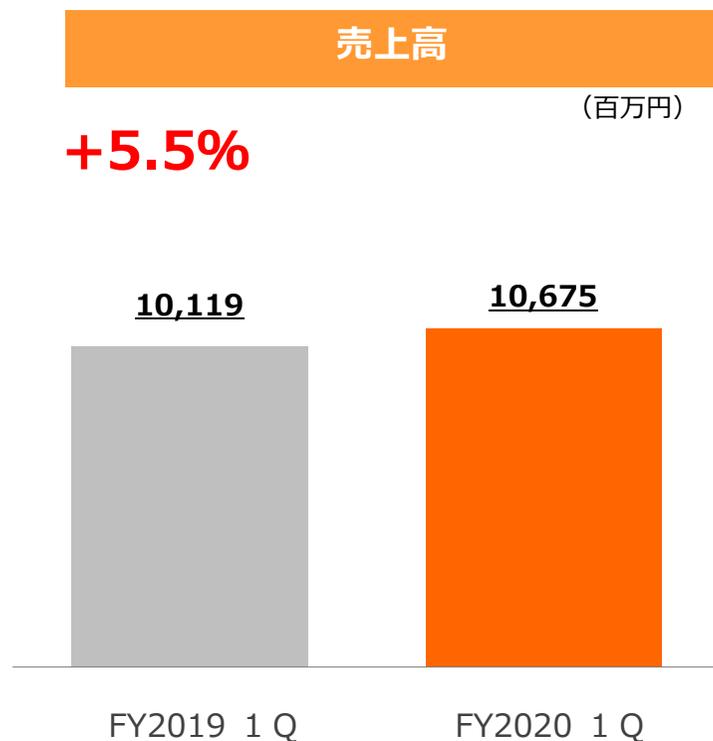
➤ 当社グループの資金状況

当社グループの現金及び預金は、2020年12月期第1四半期末時点で、同会計期間平均月商の3.2倍に相当する11,373百万円を保有しております。同時点における流動比率も318%であり、流動性は十分確保しております。

2. FY2020 1Q連結業績 (2020年1月～3月)

連結 FY2020 1Q前年同期比較

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業の個々の需要動向の変動による影響を受けた結果、短期業務支援事業の伸長が想定を下回ったことを主因とし、**売上高は前年同期比5.5%の増収**に留まった。
- 主力サービスの伸長が想定を下回ったことで、**営業利益は、前年同期比6.6%の増益、営業利益率は0.2PTの改善**に留まった。



連結 FY2020 1Q前年同期比較

- **新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経常利益は前年同期比8.9%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.2%の増益に留まった。**

	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減額	増減率
売上高	10,119	10,675	557	5.5%
売上総利益	4,437	4,660	223	5.0%
販管費	2,846	2,964	118	4.1%
営業利益	1,591	1,696	106	6.6%
営業利益率	15.7%	15.9%	—	0.2PT
経常利益	1,604	1,746	142	8.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,066	1,132	66	6.2%

3. FY2020 1Qセグメント業績 (2020年1月～3月)

短期 FY2020 1Q前年同期比較

売上高 (百万円)

+5.5%

8,739

9,217

FY2019 1 Q

FY2020 1 Q

売上高

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業の個々の需要動向の変動による影響を受けた結果、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」の伸長が想定を下回ったことを主因とし、**売上高は前年同期比5.5%の増収**に留まった。

営業利益 (百万円)

+1.3%

1,762

1,785

FY2019 1 Q

FY2020 1 Q

営業利益

- 主力サービスの伸長が想定を下回ったことを主因とし、**営業利益は前年同期比1.3%の増益**に留まり、**営業利益率は0.8PT低下**した。

営業利益率
20.2%

営業利益率
19.4%

短期 FY2020 1Q前年同期比較（サービス区分別）

(百万円)

	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減額	増減率
売上高	8,739	9,217	478	5.5%
紹介	1,468	1,307	△161	△10.9%
BPO	1,699	1,865	165	9.7%
派遣	4,851	5,463	612	12.6%
請負	721	582	△139	△19.3%
売上総利益	3,989	4,118	129	3.2%
紹介	1,410	1,279	△132	△9.3%
BPO	1,616	1,768	152	9.4%
派遣	772	891	119	15.4%
請負	191	180	△11	△5.9%

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業個々の需要動向の変動による影響を受けた結果、主力サービスである「紹介」が減収、且つ、売上総利益減益となった。また、各種イベントの開催自粛等の影響もあり、「請負」の売上総利益は前年同期同等の水準となった。

■ 前期より継続して、顧客企業の採用需要の内、長期人材ニーズに応えたことで「派遣」が伸張した。

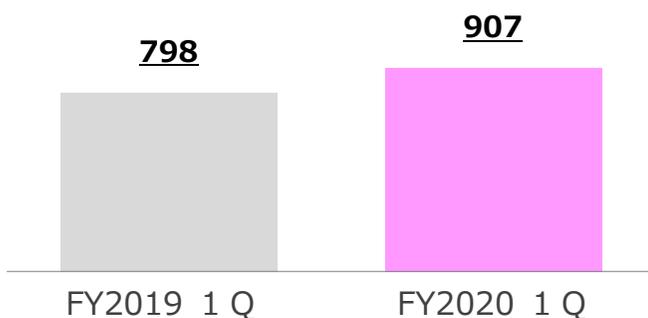
■ BPOメニューの内、株式会社BODが提供するバックオフィス系BPOサービス及び「年末調整事務代行」等のその他のBPOサービスが伸張したことで、「BPO」が伸張した。

営業 FY2020 1Q前年同期比較

売上高 (百万円)

+13.7%

売上高

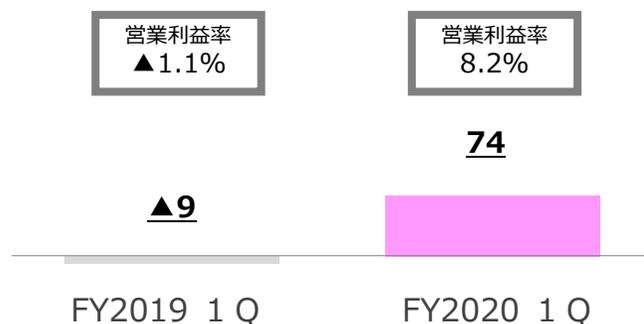


- 今期より連結子会社とした日本電気サービス株式会社の業績を取り込んだことを主因として、**売上高は前年同期比13.7%の増収**となった。

営業利益 (百万円)

+83百万円

営業利益



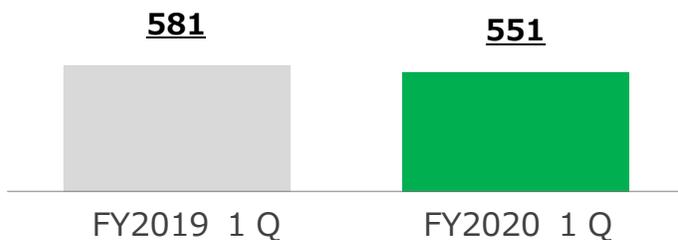
- 増収したことに伴い、**営業利益は前年同期比83百万円の増益**となった。

- ✓ 2020年12月期第1四半期連結会計期間より、当社の持分法適用非連結子会社であった日本電気サービス株式会社を連結の範囲に含めております。
- ✓ 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」、「アライアンス事業」及び「エンターテインメント事業」並びに「電気料金削減サービス」を行っております。

警備・その他 FY2020 1Q前年同期比較

売上高 (百万円)

△5.2%

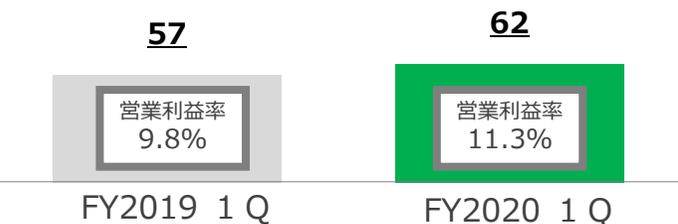


売上高

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、主として、臨時警備案件の獲得数が減少したことで、**売上高は前年同期比5.2%の減収**となった。

営業利益 (百万円)

+9.5%



営業利益

- 減収したものの、販管費の抑制に努め、**営業利益率を1.5PT改善**させたことにより、**営業利益は前年同期比9.5%の増益**となった。

4. FY2020 業績予想の修正 及び配当予想の修正

FY2020 業績予想の修正及び配当予想の修正

- 新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期や政府の動向、顧客先の状況や動向など、現時点では連結業績に影響を与える未確定要素が多いことから、第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想を未定とします。
- なお、4月7日に発表された「緊急事態宣言」及び4月16日に発表された同全国拡大に伴う企業活動の自粛ないしは休止により、顧客企業の需要動向は全般的に縮減しており、当社の業績は影響を受けております。
- 今後、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、連結業績予想を改めて開示できると判断した場合には、速やかに開示いたします。
- 2020年12月期中間配当及び期末配当予想につきましても、業績予想を未定としたことに併せて、未定とさせていただきます。

(百万円)

	FY2020 1Q 実績	FY2020 2Q累計 前回発表予想	FY2020 2Q累計 今回修正予想	FY2020通期 前回発表予想	FY2020通期 今回修正予想
売上高	10,675	22,929	—	48,800	—
売上総利益	4,660	9,890	—	20,716	—
営業利益	1,696	3,808	—	8,150	—
経常利益	1,746	3,812	—	8,200	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,132	2,474	—	5,357	—
1株当たり当期純利益(円)	30.45	66.97	—	145.49	—
配当予想					
1株当たり配当金(円)	—	22	—	22	—

FY2020 業績予想の修正（セグメント別売上高）

- セグメント別売上高の2020年12月期業績予想につきましても、2020年12月期第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想と同様に、未定とします。

(百万円)

		FY2020 1Q 実績	FY2020通期 前回発表予想	FY2020通期 今回修正予想
短期業務支援事業	売上高	10,675	42,543	—
	紹介	1,307	6,626	—
	BPO	1,865	7,351	—
	派遣	5,463	24,115	—
	請負	582	4,452	—
営業支援事業	売上高	907	3,715	—
警備・その他事業	売上高	551	2,542	—

➤ セグメント別売上高の第2四半期累計期間業績予想は開示しておりません。

■ 資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元
の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ
上限0.5倍としております。

免責事項

- Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

注記事項

<当資料について>

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

<短期業務支援事業について>

- 2020年12月期第1四半期連結会計期間より、2020年1月1日付で連結子会社とした株式会社HRマネジメントの実績を含めております。同社の業績は「BPO」サービスに計上しております。
- 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社BODが行っているBPOサービスを合算しております。
- 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区分別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

<営業支援事業について>

- 2020年12月期第1四半期連結会計期間より、当社の持分法適用非連結子会社であった日本電気サービス株式会社を連結の範囲に含めております。
- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」、「アライアンス事業」及び「エンターテイメント事業」並びに「電気料金削減サービス」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

<2020年12月期業績予想について>

- セグメント別売上高の第2四半期累計期間業績予想は開示しておりません。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

【お問い合わせ先】

IR課 : 03 - 4530 - 4830
URL : <https://www.fullcastholdings.co.jp/ir>
Email : IR@fullcast.co.jp